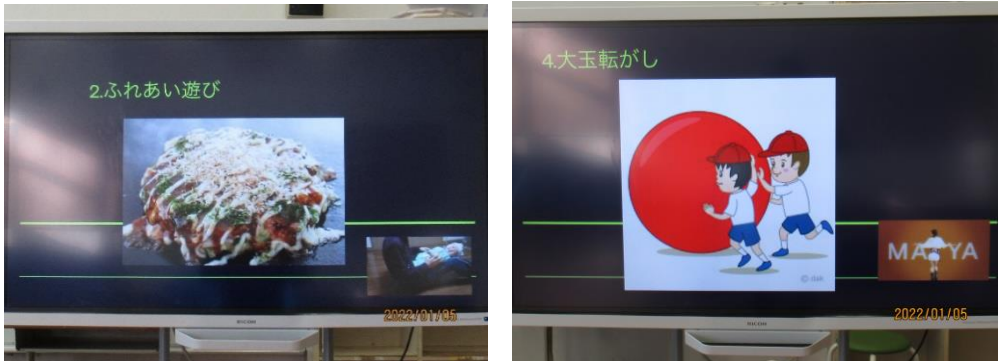






題材名 【カテゴリー】	タブレット端末を活用した社会性の学習 【視覚支援】
学部	小学部
教科	社会性の学習
指導対象 児童の太田ステージ：I－3	
ICT 活用 のねらい	・活動内容を視覚的に掲示することで、児童が活動へ見通しをもって参加できる。
活用の 様子	
指導方法 及び 留意点	<指導方法> ・ふれあい遊びでは、「お好み焼き」の曲に合わせて、タッチングを行う。 ・車ごっこでは、「銀河鉄道999」の曲に合わせて、友達と一緒に段ボール列車に乗って、周回する。 ・大玉転がし&ボール運びでは、「Make you happy」の曲に合わせて、友達と一緒に活動できるように促す。 <留意点> ・曲が終わった場合は直ぐに再生する。
成果	(身に付けさせたい力) ・イラストや写真を見て、次の活動へ期待感をもって、参加することができる。 (成果) ・流れをルーティン化したことで、児童が活動へ見通しをもって参加することができた。


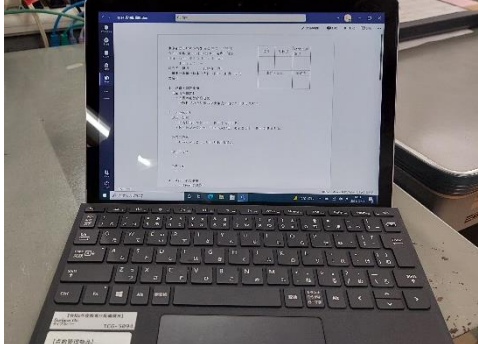
<p>題材名 【カテゴリー】</p>	<p>タブレット端末を活用した日常生活の指導 (朝の会) 【視覚支援】</p>
<p>学部</p>	<p>小学部</p>
<p>教科</p>	<p>日常生活の指導 (朝の会)</p>
<p>指導対象 児童の太田ステージ：Ⅰ-Ⅲ</p>	
<p>ICT 活用の ねらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をしたり、歌を歌ったりし元気よく一日をスタートする。 ・視覚的に提示された一日の予定を確認することで、活動の見通しをもつ。
<p>活用の 様子</p>	
<p>活用方法 及び 留意点</p>	<p><指導方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・モニター画面に朝の会で取り組む内容を映す。 ・工程の絵を見せる時にはジェスチャー等を交えながら行う。 ・児童に応じてその日の天気や日付をホワイトボードに貼ったり、給食の好きなメニューを指さしたりする。 <p><留意点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「なまえよび」では目を合わせるように促し、呼名後目が合ってから両手タッチをする。
<p>成果</p>	<p>(身に付けさせたい力)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝の会だけでなく、一日の様々な活動でも一定の時間注目し、模倣する力(成果) ・集団での場面にクラス全員が参加でき、注目する時間が長くなった。 ・大きく視覚的に活動内容を示すことで足踏み等、部分的に模倣する姿が見られた。

<p>題材名 【カテゴリー】</p>	<p>タブレット端末を活用した遊びの学習 (的当て、的破り) 【視覚支援】</p>
<p>学部</p>	<p>小学部</p>
<p>教科</p>	<p>遊びの学習 (社会性)</p>
<p>指導対象 児童の太田ステージ：I－III</p>	
<p>ICT 活用の ねらい</p>	<p>活動内容を視覚的に掲示することで、児童が活動へ見通しをもって参加できる。</p>
<p>活用の 様子</p>	
<p>指導方法 及び 留意点</p>	<p><指導方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・大画面モニターで、今日の授業予定表を映し出す。 ・遊びに興味をもたせるために、動画を見せる。 ・動画で遊びのおおよその方法を知る。 <p><留意点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・二つの遊びの中から一つを選ぶ活動ではあるが、ここでは楽しく遊ぶことをねらいとする。
<p>成果</p>	<p>(身に付けさせたい力)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動画を見て、次の活動へ期待感をもって、参加することができる。 <p>(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動画を見て遊びの方法を知ること、児童が活動へ見通しをもって参加することができた。



題材名 【カテゴリー】	<h2>2学期をふりかえろう！</h2> <h3>【視覚支援】</h3>
学部	小学部
教科	生活単元学習
指導対象 児童の太田ステージ：I－3以上	
ICT活用 のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・写真や動画を見ながら、2学期を振り返る。 ・2学期の頑張りを称賛する。 ・見通しをもって活動に参加する。
活用の様子	
指導方法 及び 留意点	<使用教材> ・タブレット端末 (iPad)、パワーポイント、モニター <指導方法> ①スライドの内容に添って、授業内容の説明や評価を行う。 ②アニメーションを付け、花丸が最後に表示させるように設定する。 <留意点> ・児童が見て、何の活動かわかる写真使用する。 ・児童の視線が画面に向いていることを確認し、花丸を出す。
成果	(身に付けさせたい力) ・画面の内容を見て、自分の頑張りを振り返る。 ・授業内容に見通しをもつ。 (成果) ・画面に注目することができた。 ・期待感をもって取り組むことで、自分の姿や好きな授業や思い出に残っている活動の写真が映し出されると画像を触ったり、手を伸ばしたりする児童の姿が見られた。


<p>題材名</p> <p>【カテゴリー】</p>	<h1>作品を鑑賞しよう！</h1> <h2>【視覚支援】</h2>
<p>学部</p>	<p>小学部</p>
<p>教科</p>	<p>図画工作</p>
<p>指導対象 児童の太田ステージ：I－3</p>	
<p>ICT 活用の ねらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・写真や動画を見ながら、授業内容を振り返る。 ・作品や制作の様子を見ながらの頑張りを称賛する。 ・見通しをもって活動に参加する。
<p>活用の 様子</p>	
<p>指導方法 及び 留意点</p>	<p><使用教材></p> <ul style="list-style-type: none"> ・タブレット端末、プレゼンテーション ソフトウェア、モニター <p><指導方法></p> <ol style="list-style-type: none"> ① 単元内容の説明 ② 学習内容の評価→作品 <p><留意点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真は作成時の児童自身が映っているものや使用した道具等を使用し、制作の前後が分かりやすいようにする。
<p>成果</p>	<p>(身に付けさせたい力)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICT 機器の活用場に触れる。 ・映像やスライドを通して自身の活動等を振り返る。 <p>(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・画面を注視し、作品や制作の様子を鑑賞することができた。 ・メダルを受け取り、授業の評価を受けることができた。

<p>題材名 【カテゴリー】</p>	<h1>クリスマスカードを作ろう</h1> <h2>【アプリケーションの活用】</h2>
<p>学部</p>	<p>中学部</p>
<p>教科</p>	<p>生活単元学習（外国語）</p>
<p>指導対象 生徒の太田ステージ：IV</p>	
<p>ICT 活用の ねらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・外国の文化に触れ、親しむことができる。 ・ICT 端末を活用しながらカードを作成することができる。
<p>活用の 様子</p>	<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="text-align: center; margin-right: 20px;"> <p>Pages</p>  </div> <div style="font-size: 2em; margin: 0 20px;">→</div> <div style="text-align: center;">  </div> </div>
<p>指導方法 及び 留意点</p>	<p><使用教材></p> <ul style="list-style-type: none"> ・GIGA スクール端末、Apple Pencil、Pages（アプリケーション） <p><指導方法></p> <ol style="list-style-type: none"> ①インターネットから使用したい素材を保存する。（著作権に要配慮） ②「Pages」を起動し、素材を取り込む。 ③素材の配置、大きさ、背景色などを設定する。 ④Apple Pencil で文字入れを行う。（手での操作も可） ⑤職員室カラープリンターや外部専門員専用印刷機に Wi-Fi を繋ぎ直し、印刷する。 <p><留意点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分で絵を描く場合は①、②は不要。 ・写真フォルダの画像に直接文字を入れることもできるが、他の画像を重ねることができない。また、メニューも Pages の方が豊富である。
<p>成果</p>	<p>（身に付けさせたい力）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英単語に親しみ、書いたり発声したりすることができる。 ・タブレット端末を活用することができる。 <p>（成果）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分からない英単語を調べたり質問したりするなどすることができた。 ・色、太さ、位置などを工夫しながら集中して学習に取り組んだ。


<p>題材名 【カテゴリー】</p>	<h1 style="text-align: center;">Teams を活用した会議の運営</h1> <h2 style="text-align: center;">【校務改善】</h2>
<p>学部</p>	<p style="text-align: center;">中学部</p>
<p>活用場面</p>	<p style="text-align: center;">学部会</p>
<p>ICT 活用の ねらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・会議資料の削減（ペーパーレス）を図る。 ・教員のオンライン利用の推進を図る。
<p>活用の 様子</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
<p>活用方法 及び 留意点</p>	<p>○活用端末：Surface（教員用タブレット端末）</p> <p><活用方法></p> <ol style="list-style-type: none"> ①（TAIMS）しいの木共有サーバー内（任意のフォルダ）に必要な資料を揃える。 ②ファイル無害化システムにより、仮想⇒物理にデータを移動する。 ③物理のデスクトップ上の Microsoft Teams を立ち上げる。 ④任意のチームを作成し、会議に参加するメンバーを追加登録する。 ⇒既存のチームは全て児童・生徒も資料を閲覧できてしまうため。 ⑤資料を追加する。 ⑥（会議開始時）各自で Surface を起動後、Teams にログインし、添付資料を開く。 <p><留意点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・記録等を入力・保存することができるが、上記の逆の手順により TAIMS の仮想にファイルを移動させる必要がある。また資料の修正等があった場合、修正したファイルを確実に移動させないと古いファイルが訂正されないままになる恐れがある。 ⇒記録及び修正用に議題や資料の印刷をし、修正箇所を TAIMS 上で直接修正することで上記の点については解消される。
<p>成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・会議の準備にかかる時間を大幅に短縮させることができた。 ・ペーパーレス化を図ることができた。 ・各教員が Teams の ID およびパスワードを確認することができた。

題材名 <small>【カテゴリー】</small>	Keynote を活用したアニメーション教材「となりのしいの木」 【アプリケーションの活用】
学部	中学部
教科	社会性の学習の時間
指導対象 生徒の太田ステージ：I－3、II	
ICT 活用のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・映像を注視することができる。 ・授業に、興味・関心をもつことができる。
活用の様子	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  <p>Keynote</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>PhotoLayers</p> </div> </div>
指導方法及び留意点	<p><使用教材> GIGA スクール端末、Keynote、PhotoLayers（アプリケーション）</p> <p><作成方法></p> <ol style="list-style-type: none"> ①生徒の写真を撮影する。 ②PhotoLayers というアプリケーションを用いて、画像を切り抜く。 ③切り抜いた画像を、Keynote に貼り付ける。 ④画像を指定し、アニメーションを選択する。 ⑤アニメーション「モーショントラック」を選択し、画像を動かす。 <p><留意点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒をアニメーションに登場させることで、興味・関心を引き出す。 ・生徒が描いた絵を登場させることで、興味・関心を引き出す。
成果	<p>(身に付けさせたい力)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・映像を注視する力 ・授業へ興味・関心 <p>(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒はモニターが見える位置に自分から移動したり、笑顔で注視したりと、意欲的に動画を鑑賞することができた。

題材名 【カテゴリー】	<h1>秋の俳句を作ろう</h1> <h2>【アプリケーションの活用】</h2>
学部	中学部
教科	国語
指導対象 生徒の太田ステージ：IV	
ICT活用のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 季節に合った季語を使い、俳句を詠むことができる。 ・ 自分の考えを定められた字数で表現することができる。
活用の様子	<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>① </p> <p>②</p> <div style="border: 1px solid blue; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>・ 秋のきれいなコスモス かいつのばい わいばい</p> </div> </div> <div style="font-size: 2em; color: blue;">➔</div> <div style="text-align: center;"> <p>③ </p> </div> </div>
指導方法及び留意点	<p><使用教材></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ GIGA スクール端末、インターネット検索、写真フォルダ <p><指導方法></p> <ol style="list-style-type: none"> ①秋を感じる写真を検索し、スクリーンショットする。 ②画像から思い浮かぶ言葉をキーワードとして入力する。 ③キーワードを組み合わせながら五七五のリズムを組み立てる。 ④清書、発表。 <p><留意点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 写真フォルダ内だけで完結させることで手順を簡略化させる。
成果	<p>(身に付けさせたい力)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 秋の季語を知り、自分の考えを表現することができるようになる。 ・ 写真から想像を膨らますことができるようになる。 <p>(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 写真→キーワード→俳句づくり と段階を踏むことで、『自分で考えた言葉』を生かした俳句を詠むことができた。

題材名 【カテゴリー】	<h1>Forms を活用した復習問題</h1> <p>【アプリケーションの活用】</p>
学部	中学部
教科	数学
指導対象 生徒の太田ステージ：IV	
ICT 活用のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的な計算をすることができる。 ・ 自分で回答を確かめ、繰り返し取り組みながら自信をもって学習することができる。
活用の様子	<p>Teams でリンクを共有</p>  <p>The diagram illustrates the workflow: on the left, the Microsoft Teams logo (purple) and the Microsoft Forms logo (green) are shown. A blue arrow points from these icons to a screenshot of a Teams chat interface. The screenshot shows a poll question in Japanese: '午前6時25分から午前8時50分までは' (From 6:25 AM to 8:50 AM). Below the question are three radio button options: '2時間25分', '2時間35分', and '2時間45分'. Below the poll is a photo of a restaurant and another poll question: '午前11時40分に食べ始め、午後0時15分に食べ終わりました。何分間食べていましたか?' (I started eating at 11:40 AM and finished at 12:15 PM. How long did I eat for?). Below this question are three radio button options: '30分間', '35分間', and '40分間'.</p>
指導方法及び留意点	<p><使用教材></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ GIGA スクール端末、Teams (アプリケーション) <p><指導方法></p> <ol style="list-style-type: none"> ①学級の Teams を開き、共有されている URL をタップする。 ②その日の学習内容の復習問題 (Forms) に取り組む。 ③回答を送信する。 ④正答を確認する。 ⑤間違えた問題があったら、もう一度解き直すこともできる。 <p><留意点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 作成したフォームがタイムライン上に残るため、その日に取り組む問題がどれか分かるように日付をタイトルに入れておく。 ・ 記述式で回答を求める場合は、数字の全角・半角をそれぞれ正答に設定しておく必要がある。 例) $2+2=?$ 正答: 2、2
成果	<p>(身に付けさせたい力)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日常生活に必要な基本的な計算能力。 ・ 計算問題に自信をもって取り組むことができる力。 <p>(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ できるようになるまで繰り返し計算問題に取り組み、自分から学習するようになった。



<p>題材名 【カテゴリー】</p>	<p>よく見て答えよう 【アプリケーションの活用】</p>
<p>学部</p>	<p>中学部</p>
<p>教科</p>	<p>数学</p>
<p>指導対象 生徒の太田ステージ：Ⅱ～Ⅲ－２</p>	
<p>ICT活用のねらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 注視する力を育成する。 ・ 授業の導入で行うことで生徒の期待感を高める。
<p>活用の様子</p>	
<p>指導方法及び留意点</p>	<p><使用教材></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ GIGA スクール端末 ・ モニターなど ・ keynote (アプリケーション) <p><指導方法></p> <ol style="list-style-type: none"> ①生徒の好きな画像を2枚保存する。 ②keynote で画像を重ねて前面の画像に「フェードアウト」をかける。 ③個別で生徒に提示・指導を行う。 <p><留意点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 注視点を小さくしたり、フェードアウトの時間を長くしたりすることで、生徒の実態に合わせた指導ができる。
<p>成果</p>	<p>(身に付けさせたい力)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ モニターやタブレット端末を一定時間注視することができる。 <p>(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒が好きなイラストや画像を使用することで授業への期待感をもつことができた。 ・ 注視する力がつき、マッチング課題などに集中できる時間が増えた。

題材名 【カテゴリー】	<h1>進路に向けて(卒業後の選択肢)</h1> <h2>【視覚支援】</h2>
学部	中学部
教科	職業
指導対象 生徒の太田ステージ：IV	
ICT 活用のねらい	<ul style="list-style-type: none"> 卒業後の生活について、具体的なイメージがもてるようにする 進路にも選択肢が様々あることを知り、自分が目指す目標を意識できるようにする 身近な先輩の実習の様子を見て、高等部での実習への見通しをもつ。
活用の様子	
指導方法及び留意点	<p><指導方法></p> <ol style="list-style-type: none"> 卒業後の夢を考える 例) 携帯電話を持ちたい 一人暮らしがしたい 好きな服を買いたい 結婚したいなど 夢を叶えるためにやらなければならないことを考える⇒働くこと 卒業後の生活にどのような選択肢があるかをスライドを使って紹介し、先輩の実習の姿を見て身近な生活をイメージする 自分が目指す進路を考える <p><留意点></p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒がやりたいことや欲しいものなど、自らイメージして発言し、希望をもって授業に臨めるようにする。 どの選択肢でも、マイナスイメージに繋がらないよう、説明する際の表現に気を付ける。 なりたい自分になるために、日常的にできること、すべきことに気付き、学校生活と結びつけられるよう指導する。
成果	<p>(身に付けさせたい力)</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の将来を自分で考え、自分で決める力 仕事をする、働くことを身近に考えられる力 <p>(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> 進路の選択しを提示することで、卒業後自分の生活をどのようにしたいか具体的に考えることができた。


<p>題材名 【カテゴリー】</p>	<h1>作業をがんばろう！</h1> <h2>【視覚支援】</h2>
<p>学部</p>	<p>中学部</p>
<p>教科</p>	<p>作業学習</p>
<p>指導対象生徒 太田ステージⅣ以上</p>	
<p>ICT 活用の ねらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・花づくりや花壇の整備、作物を届けることの目的を知る。 ・人に喜んでもらうために頑張る、という気持ちをもつ。
<p>活用の 様子</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="background-color: #003366; color: white; padding: 10px; width: 30%; text-align: center;"> <p>人によろこんでもらう 仕事をしよう！</p> </div> <div style="background-color: #003366; color: white; padding: 10px; width: 30%; text-align: center;"> <p>よろこんでくれる人が いるから、 花づくりは楽しい。</p> </div> <div style="background-color: #003366; color: white; padding: 10px; width: 30%; text-align: center;"> <p>みんなが 明るい気持ちで すごせる 学校にしよう！</p> </div> </div>
<p>指導方法 及び 留意点</p>	<p><指導方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・パワーポイントの画面を見せながら、これまでの活動を振り返らせる。 <p><留意点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの活動の意味に気付かせながら、今後の活動の意欲につながるようにする。自分が皆の役に立っていることにも気付かせたい。
<p>成果</p>	<p>(身に付けさせたい力)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奉仕活動のねらいを意識させ、進んで意欲をもって活動できるようにしたい。 <p>(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の中のさまざまな活動の意味に気づいたことで、意欲を引き出すことができた。



<p>題材名 【カテゴリー】</p>	<p style="text-align: center;">QR コードを活用した動画視聴 【視覚支援】</p>
<p>学部</p>	<p style="text-align: center;">高等部</p>
<p>教科</p>	<p style="text-align: center;">保健体育</p>
<p style="text-align: center;">指導対象 生徒の太田ステージ：IV</p>	
<p>ICT 活用の ねらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら ICT 機器を活用して、体の動かし方を調べることができる。 ・ICT 機器の適切に活用することができる。
<p>活用の 様子</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="395 801 970 1227"> </div> <div data-bbox="986 792 1444 1272"> </div> </div>
<p>指導方法 及び 留意点</p>	<p><指導方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒に ICT 機器と QR コードのラミネートを渡し、カメラ機能を用いて QR コードを読み取るように指示をする。 <p><留意点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒に提示する前に適切に作動するか確認をする。 ・読み込んだページから別サイトへ派生することができるため、生徒の使用状況等の把握を ST と連携して行うようにする。
<p>成果</p>	<p>(身に付けさせたい力)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調べたい、確認したい事を ICT 機器を積極的に活用して知ることができる力。 <p>(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要な時に必要な分だけ ICT 機器を活用することができた。



<p>題材名 【カテゴリー】</p>	<h1>漢字の書き順を覚えよう</h1> <h2>【アプリケーションの活用】</h2>
<p>学部</p>	<p>高等部</p>
<p>教科</p>	<p>国語</p>
<p>指導対象 生徒の太田ステージ：Ⅳ以上</p>	
<p>ICT 活用の ねらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ICT 端末を活用しながら、漢字の書き順を示すことができる。 ・ 漢字の書き順が視覚的に分かり、見本を簡単に模倣することができる。
<p>活動の 様子</p>	<p>常用漢字筆順辞典 (iPad アプリ)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div>
<p>指導方法 及び 留意点</p>	<p><指導方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 漢字学習の際、ICT 端末を画面に映し出し、書き順を確認する。 ・ 指で空書きしながら、見本と同じように真似することができる。 ・ 読み方が分からなくても、漢字を書きこめば確認できる。 <p><留意点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 辞書を引ける生徒は、(状況に応じて) 紙の辞書と併用する。
<p>成果</p>	<p>(身に付けさせたい力)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 漢字に親しみ、書くことへの苦手意識を軽減することができる。 ・ 辞書がひけなくても、タブレット端末を活用すれば漢字を書くことができる。 <p>(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 読み方が分からなくても、漢字を調べたりすることができた。 ・ 視覚的に提示され、動きがあるので、集中することができた。



題材名 【カテゴリー】	<h1>買い物学習</h1> <h2>【視覚支援】</h2>																																										
学部	高等部																																										
教科	生活単元学習																																										
指導対象 生徒の太田ステージ：Ⅲ－２以上																																											
ICT 活用の ねらい	・見通しをもって活動に取り組むことができる。																																										
活用の 様子	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="422 801 890 1064" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">  </div> <div data-bbox="949 801 1433 1070" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>1 いついくの？ 12月 2021</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>日</th><th>月</th><th>火</th><th>水</th><th>木</th><th>金</th><th>土</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>28</td><td>29</td><td>30</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td></tr> <tr> <td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td><td>11</td></tr> <tr> <td>12</td><td>13</td><td>14</td><td>15</td><td>16</td><td>17</td><td>18</td></tr> <tr> <td>19</td><td>20</td><td>21</td><td>22</td><td>23</td><td>24</td><td>25</td></tr> <tr> <td>26</td><td>27</td><td>28</td><td>29</td><td>30</td><td>31</td><td></td></tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">*14日 校内実習 *21日 発表会 *24日 発表会</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div data-bbox="422 1086 890 1355" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>4 なにを買う？</p>  <p style="text-align: center;">*変更あり</p> </div> <div data-bbox="949 1086 1433 1355" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>5 役割分担を決めよう！</p>  </div> </div>	日	月	火	水	木	金	土	28	29	30	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
日	月	火	水	木	金	土																																					
28	29	30	1	2	3	4																																					
5	6	7	8	9	10	11																																					
12	13	14	15	16	17	18																																					
19	20	21	22	23	24	25																																					
26	27	28	29	30	31																																						
指導方法 及び 留意点	<p><指導方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・買い物学習の日程や当日のスケジュール、買うもの等を、プレゼンテーション資料を使用することで、視覚的に分かりやすく説明する。 ・プレゼンテーション資料を印刷して利用することで、当日のしおりとして活用することができ、生徒自身が予定を確認する。 																																										
成果	<p>(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見通しをもって活動に参加することができた。 ・楽しみながら参加し、生徒から目標や成果を教員に報告することができた。 																																										

題材 <small>【カテゴリー】</small>	リスニングに慣れ親しもう 【アプリケーションの活用】
学部	高等部
教科	生活単元学習(外国語)
指導対象 生徒の太田ステージ：Ⅲ-2～Ⅳ以上	
ICT 活用 のねらい	・英単語のイラストを見たり発声したりして、親しむことができる。
活用の様子	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p style="text-align: center;">レベル 1</p> <p style="text-align: center;">①人とイラストを結ぶ</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p style="text-align: center;">レベル 2</p> <p style="text-align: center;">①人とイラストを結ぶ ②スペルを選ぶ</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p style="text-align: center;">レベル 3</p> <p style="text-align: center;">①人とイラストを結ぶ ②スペルの穴埋めをする</p> </div> </div>
指導方法 及び 留意点	<使用教材> ・パワーポイント、スピーカー、ヒントカード <指導方法> ①イラストを提示する ②イラストの中から自分の好きなものを選んで I like～で答える。 ・回答が難しい場合にはヒントカードを提示する。 <留意点> ・回答が難しい場合にはヒントカードを見るよう指示し、教員の方からも最初の文法を伝える。
成果	(身に付けさせたい力) ・英単語に親しみ、見たり発声したりすることができる。 ・英文字(スペル)に親しむことができる。 (成果) ・英単語を聞き取り該当するイラストへ線を結ぶことができた。 ・英文字(スペル)をヒントから選んで正確に記入することができた。



<p>題材名 【カテゴリー】</p>	<h1>食べ物の親友を知ろう</h1> <h2>【アプリケーションの活用】</h2>
<p>学部</p>	<p>高等部</p>
<p>教科</p>	<p>家庭</p>
<p>指導対象 生徒の太田ステージ：Ⅳ以降</p>	
<p>ICT 活用の ねらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・食べ物の効果的な組み合わせを知る。 ・食べ物の組み合わせの効果を意識し、日常生活に生かそうとする意欲をつける。
<p>活用の 様子</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>※</p>
<p>指導方法 及び 留意点</p>	<p><使用教材></p> <ul style="list-style-type: none"> ・タブレット端末 (iPad)、Keynote (アプリケーション)、モニター、プリント <p><指導方法></p> <ol style="list-style-type: none"> ①「Keynote」でアニメーションを取り入れ、クイズ形式で作成する。 ②「Keynote」を起動し、スライドに沿って展開する。 <p><留意点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・スライドはPDF化できるが、印刷は「AirPrint プリンタ」のみ対応している。
<p>成果</p>	<p>(身に付けさせたい力)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体に良い食べ物の組み合わせと悪い組み合わせの知識。 ・健康的な食生活を送ろうとする意欲・関心。 <p>(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クイズ形式を取ることによって、生徒一人一人が意欲的に参加することができた。 ・まとめて線つなぎプリントを行い、学習内容の達成度を確認することができた。

<p>題材名 【カテゴリー】</p>	<h1>モノプリントについて知ろう</h1> <h2>【視覚支援】</h2>
<p>学部</p>	<p>高等部</p>
<p>教科</p>	<p>美術</p>
<p>指導対象 生徒の太田ステージ：Ⅲ－２以上</p>	
<p>ICT 活用の ねらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・モノプリントの技法について知る。 ・近代の代表的な抽象画作品を知る。
<p>活用の 様子</p>	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  <p>モノプリントとは 版画のひとつ</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>版に絵具をのせて刷る技法です。</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>具体物は描きません。</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>ジャクソン・ポロック</p> </div> </div>
<p>指導方法 及び 留意点</p>	<p><指導方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・パワーポイントで画像を見せながら、モノプリントの基本的な技法を紹介する。 ・描くものは具体物ではなく、抽象画を意識するよう伝える。 ・近代の代表的な抽象画作品の画像を紹介する。 ・西洋美術の大まかな流れを説明し、キーワードとして「ピカソ」の名前を伝える。 ・ピカソを超えた芸術家として「ジャクソン・ポロック」の名前を紹介する。 ・テレビ番組を録画した「ポロックの自然」を鑑賞する。 <p><留意点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・モノプリントを制作する際には筆を使わない絵画、上下左右の無い絵画を意識するよう促す。
<p>備 考</p>	<p>(身に付けさせたい力)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見通しをもって作品制作する力。 ・偶然にできた色や形、模様などを、制作の過程も含めて楽しむ力。 <p>(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全員、基本の3色と白のみ使用したが、それぞれが個性的な作品を制作することができた。一部の生徒は、毎回、色の使い方や混ざり方を変え、変化にとんだ作品を制作することができた。

題材名 【カテゴリー】	<h1>学習予定表</h1> <h2>【視覚支援】</h2>
学部	高等部
教科	美術
指導対象 生徒の太田ステージ：Ⅱ～Ⅲ-2	
ICT 活用の ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動に見通しをもつことができる。 ・先の予定を把握することで、最後まで活動に参加することができる。
活用の 様子	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>エプロン</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>えのぐでデザインしよう！</p> </div> </div>
指導方法 及び 留意点	<p><使用教材> タブレット端末、keynote（アプリケーション）、モニター、appleTV</p> <p><指導方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・keynote で作成したスライドをモニターに映し出し、スライドを確認しながら授業を進めていく。 <p><留意点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の生徒と学習がずれてしまうことがあるため、手元にそれぞれの実態に合わせた簡易的な学習予定表を用意しておく必要がある。
成果	<p><身に付けさせたい力></p> <ul style="list-style-type: none"> ・見通しをもち、最後まで活動に取り組むことができる力 ・授業に対する興味・関心 <p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員が直接指導することなく、モニターを確認するだけで次の活動の準備や作業に自ら移ることができるようになった。また、先の予定を把握できるようになったため、50分間の授業に最後まで活動することができるようになった。

<p>題材名 【カテゴリー】</p>	<p>歌遊び「双眼鏡をのぞいたら」 【アプリケーションの活用】</p>
<p>学部</p>	<p>全学部</p>
<p>教科</p>	<p>音楽（他の教科でも活用可能）</p>
<p>指導対象 児童・生徒の太田ステージ：すべて</p>	
<p>ICT 活用の ねらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の導入として、児童・生徒の興味を引きつける。 ・出てくる映像を期待しながら歌を楽しむ。 ・好きな歌を増やす。
<p>活用の 様子</p>	<p>「双眼鏡をのぞいたら あらあら何かが見えてきた →</p>  <p>私の私の大好きな 〇〇が見えてきた」 →</p> 
<p>指導方法 及び 留意点</p>	<p><使用教材> ・一度タッチしたら流しっぱなしで済む i - movie を使用して作成した。</p> <p><留意点> ・歌は、画像の進み具合に合わせて生で演奏している。出てくる生徒の写真に合わせて、その子に意識を向けながら演奏するようにしている。 ・最後に給食のメニューを出すことで、毎回顔は同じだけれど、最後に違いがあり、マナー化を防ぐようにした。</p> <p><指導方法> ・音楽で使用しているが、何かの事前学習で必要なものが出てくるとか、どの教科でも対応可能であり、映像の入れ替えもとても簡単である。</p>
<p>成果</p>	<p>(身に付けさせたい力)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物事への期待感をもつ。 ・興味をもてる歌を増やす。 <p>(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分や友達の顔が映像に出てくることを期待して、気持ちが授業に向かった。 ・繰り返しのメロディーを覚えて、自分なりの替え歌を楽しむ生徒がいた。

<p>題材名 【カテゴリー】</p>	<h1>卒業生のお話を聞く会</h1> <h2>【視覚支援】</h2>
<p>学部</p>	<p>高等部</p>
<p>教科</p>	<p>職業</p>
<p>指導対象 児童・生徒の太田ステージ：Ⅲ - 2～Ⅳ以上</p>	
<p>ICT 活用の ねらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業生のお話を聞き、自分の進路について考える。 ・卒業後の生活のイメージをもつ。
<p>活用の 様子</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>都立しいの木特別支援学校</p>  <p>卒業生のお話を聞く会</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>ドラッグストアでの実習</p>  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> <p>佐川急便の実習では、とても重いものも運びました。</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>工作中、何をしているのかな？</p>  </div> </div>
<p>指導方法 及び 留意点</p>	<p><指導方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・先輩の高校時代の映像（パワーポイントで現場実習の様子等）を提示し、卒業生に説明してもらう。 ・在校生の質問（卒業後の生活について、仕事のこと・グループホームのこと等）に返答してもらいながら展開する。 <p><留意点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会人として必要になること、在学中に大切にしてほしいことや取り組んでほしいことを卒業生に経験から在校生に伝えてもらう。
<p>成果</p>	<p>(身に付けさせたい力)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一緒に寮で生活していた先輩が、社会人として活躍している姿を見ることで卒業後の生活をイメージする力を身に付けさせたい。 <p>(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会人となった先輩のお話を聞くことで、自分の卒業後の進路について考えることができた。

<p>題材名 【カテゴリー】</p>	<h1>ICT 機器を活用した業務改善</h1> <h2>【校務改善】</h2>																																								
<p>学部</p>	<p>教務</p>																																								
<p>活用場面</p>	<p>諸会議、学校評価</p>																																								
<p>ICT 活用の ねらい</p>	<p>ICT 機器を活用し、ペーパーレスの推進、業務の効率化を図る。</p>																																								
<p>活用の 様子</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>手動で作成</p> </div> <div style="font-size: 2em; color: #4a86e8;">➔</div> <div style="text-align: center;">  <p>自動で生成</p> </div> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <p>令和2年度 施設職員の回答の割合</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>①</th> <th>②</th> <th>③</th> <th>④</th> <th>⑤</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>I 教育活動全般について</td> <td>38%</td> <td>49%</td> <td>13%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>II ネットワーク</td> <td>21%</td> <td>51%</td> <td>28%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>III 安全・防災・設備</td> <td>30%</td> <td>49%</td> <td>21%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>IV 教務</td> <td>30%</td> <td>50%</td> <td>20%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <p>17. 学校生活や学習の様子をホームページ、通信でわかりやすく情報提供できていますか。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>回答</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A とてもそう思う</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>B そう思う</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>C そう思わない</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>D 改善が必要</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> </div>	項目	①	②	③	④	⑤	I 教育活動全般について	38%	49%	13%	0%	0%	II ネットワーク	21%	51%	28%	0%	0%	III 安全・防災・設備	30%	49%	21%	0%	0%	IV 教務	30%	50%	20%	0%	0%	回答	人数	A とてもそう思う	13	B そう思う	24	C そう思わない	1	D 改善が必要	0
項目	①	②	③	④	⑤																																				
I 教育活動全般について	38%	49%	13%	0%	0%																																				
II ネットワーク	21%	51%	28%	0%	0%																																				
III 安全・防災・設備	30%	49%	21%	0%	0%																																				
IV 教務	30%	50%	20%	0%	0%																																				
回答	人数																																								
A とてもそう思う	13																																								
B そう思う	24																																								
C そう思わない	1																																								
D 改善が必要	0																																								
<p>活用方法 及び 留意点</p>	<p><活用方法> 会議・・・会議室にて ICT パソコンを活用することにより、大幅なペーパーレス化。パソコンを活用し、その場で記録をとることにより、業務の効率化を図る。 学校評価・・・アンケートソフトを活用し、集計の効率化を図る。</p>																																								
<p>成果</p>	<p>会議・・・1回 10枚×10セット×4週×11か月＝440枚前後のペーパーレス化。 学校評価・・・集計時間 2時間（想像）→10秒（ID、パスワード入力時間。ソフトを開けば集計されている。）</p>																																								